

## 運動会で学区自治会のテントが活躍



今年は 9 月になっても、猛暑日が続きました。開成町の小学校は 2 校とも 9 月 15 日(土)に運動会が実施されました。両校の児童は、この日家族や地域の皆様を前に毎日毎日練習した成果を発表しました。

年々、日差しがきびしくなるようで、授業中でもそうですし、運動会のように外での行事などではとくに

児童の対応には配慮が必要となってきました。

開成小学校の運動会では、今年は自治会のテントを借りて児童用の応援席を作りました。組み立てやたたみ込みは自治会や保護者の協力もあったということで、まさに地域と共に歩む学校が進められていると思いました。

また、当日は開成町赤十字奉仕団の皆様が本部テントに控えてくださって、児童の緊急事態に備えていただきました。ありがたいことです。

当日は、熱中症による症状を訴える児童もいなかったと聞きます。大きな行事を進めるうえで、地域、各種団体の学校支援に感謝したいと思いました。



## 秋の全国交通安全運動が行われました

### 町全体で交通安全を祈る

秋の全国交通安全運動が 9 月 21 日から始まりました(30 日まで)。

「子どもたちの登校の列に車が突っ込む」というような見出しの新聞記事がありました。開成町も車の通りが激しい道があります。児童には交通ルールを守るように指導をしながら、運転手には子どもたちに対する安全への配慮をお願いしたいところです。



交通安全運動の初日、町長さん、教育長さん、教育委員会課長さん、駐



在さん方が折鶴と眠気冷ましのガムを配布して、運転手に交通安全への配慮をお願いしました。共に交通安全の折鶴を配布してくれたのは、婦人会の皆さんです。子どもたちの安全を願って、運転手にうったえていらっしやいました。

交通安全を願って活動をされているのは、PTA、自治会、老人会、自治会の福祉部等、地域全体の活動が定期的に行われることによって、子どもたちの安全が守られているわけです。

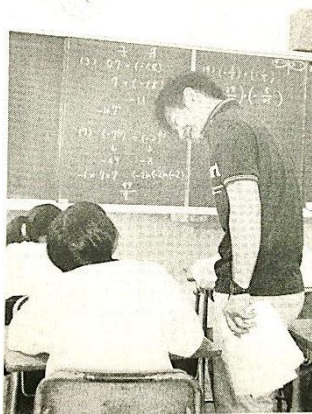


## 学力向上支援活動のためにNPO法人との連携

NPO法人（Teach For Japan）との契約による学力向上のための支援活動が2年目を迎えています。

昨年度は二人の支援者を迎え、文命中学校で生徒のために学力の向上推進事業を行いました。今年度は法人より派遣された支援者 新原大輔さん が学習支援を進めています。

週末、全生徒に課題を配布し、週明けに小テストを行い、分析して個人に合った課題を作成しまた週末に配布するというローテーションで個人の学習の支援を行っています。生徒一人ひとりの支援内容を把握することに努めてくれています。



また、放課後、希望者に補習を行っています。定期試験の時期には、スタディールームで個別の指導も行われています。さらに、夏期休業には「サマープログラム」を実施し、学習支援を行っています。これは生徒にも評判がよく、自分の学力の向上を考えている生徒の参加が夏休みを通してありました。

学校の先生だけでなく、外部の学習支援者を招き時間の有効活用による学力の向上の計画が実を結んでいます。また、学力に自信がついた生徒が自分の生活を見直し始めていることがこの支援活動の大きな成果として考

えられます。（写真は「神奈川新聞」記事から）

## コミュニティ・スクール情報（「教育委員会月報」9月号 文部科学省学校運営支援担当の寄稿から）

○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、平成16年6月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により導入されました。

保護者や地域住民が、合議の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すという、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりの仕組みです。

○平成24年4月1日現在、1183校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置しています。（開成町の小・中学校の3校も開成町教育委員会から指定され、学校運営協議会を設置しています。）

○コミュニティ・スクールに指定された学校から

- ・地域全体で子どもを見守り育てようとする意識が高まり、多くの保護者や地域住民が学校に協力するようになった。
  - ・学校の課題に対して、自治会等による主体的な支援が拡大した。
- などの成果が寄せられています。

開成町の小学校、中学校の3校もコミュニティ・スクールに指定されています。開成町の学校は昔から、保護者の方々、地域の方々からの支援をたくさん受けて、子どもたちの教育を進めてきました。今後とも「地域とともにある学校づくり」を目指してさらに推進をしていくつもりです。各学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

